

S&Uだより

2024年3月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

safety & useful 発行 No316

能登地震より2か月が経ち 学校の再開、交通機関の回復など 少しずつですが日常が戻ってきているようです。

しかし、本格的な復興作業はまだまだ遠い状況にあると言えます。

近隣の業者には「すぐにも工事に入ってほしい、何人来れる？」という依頼が ひっきりなしに届いているそうです。こういっては失礼ですが 現地の状況を理解されていないデスクワークの方のお考えですと「被災地のために不眠不休、例えばコンテナハウスで 例えば車で寝泊まりしてでも 貢献するのが人情ではないか？しかも 多くはなくてもちゃんと代金は保証されているのだから・・・」そこまで 言及はされませんが おっしゃっている要望はこのように感じに受け取れます。近所の建設関係の知人の話ですと「宿泊もできない状態で とても社員を送り出すことはできない」とのことで、心苦しいが 今はお断りしている状況だと言っていました。

マルジンも 工事前の調査関係等のモノレールのご依頼があります。しかし 宿泊が本当に難題です。

会社から 車で2時間ぐらいのところは 通うようにしていますが いかんせん「輪島、珠洲」となりますと 通常でも会社から4時間 今ですと半日かかってしまいます。とても通勤は無理です・・・。

今、旅館等に避難されている被災者が仮設住宅に移られて 空いた宿泊施設に工事関係者が泊まれるようになったら また復興工事が進むようになるかもしれません。「復興が進まない！対応が遅い」と言われる人もいます。

しかしながら、対応している役所の方も被災者です。そして 半島という能登の特有の状況もあります。

ボランティアも少しずつ募集しています。こちらも 今は金沢市から バスで送迎している状態で 現地での作業時間はほとんど取れないというのが現状です。本当に「泊まる場所がない」のです。

そんな中、能登半島地震の被災地を対象とした国の観光復興支援「北陸応援割」が3月から始まる予定です。石川県の馳浩知事が3～4月に想定されている開始時期を遅らせたい意向を表明しました。補助対象の宿泊施設に多くの2次避難者が身を寄せており、増加が予想される旅行者と重なる事態を避けるためだということです。馳知事は記者会見で「石川は被害が大きい。(応援割は)富山県、福井県と一緒に始めたかったができない。両県に先に進めてほしいと伝えた」と表明しました。正直のところ 被災地に近い旅館やホテルなどは 仮設などの住居設置と並行して 工事関係者を優先で宿泊させていただき 被害状況の少ない北陸の地域は「応援割」で 活力を取り戻していただく・・・

そんな風に対応していただけると 順次復興も進んでいくのでは？と思いますが どうなることでしょうか。

さて、中国では「不動産バブルの崩壊」とか「経済の低迷」とか不評が飛び交っていますが また今年も春節で 多くの人々が観光などで各地、各国へ移動したようです。“中国のハワイ”と呼ばれる海南島。春節の大型連休が終わった後にも多くの観光客が島から出られない状況になっていました。原因の一つは、中国が世界をリードするEV＝電気自動車でした。港に向かう車の長い列。その長さはなんと、十数キロにわたるといいます。何故？？国内旅行が盛況だった今年の春節。中国政府の発表によりますと、のべ4億7400万人が国内を旅行し、南部の海南島には950万人以上が訪れたといえます。フェリーに自家用車を載せて島を訪れる観光客も多く、帰りのタイミングが連休終盤に集中。さらに、フェリーは車両火災のリスクを減らすため、EV＝電気自動車は18台しか積載できないといい、こうした渋滞が発生しているのです。そして渋滞はまた 充電スタンドでの渋滞を招き 最悪は充電切れで動けなくなってしまう車も・・・

EV車のデメリットを自らさらけ出した格好です。中国だけでなくアメリカでも寒波到来の際 氷点下になると{EVの航続距離}は大幅に減少し バッテリーの不具合、充電施設の凍結など事故や被害が拡大してしまったそうです。なんせ フル充電には5～8時間を要するとのことで もしも、先だっの関東大雪立ち往生や、能登地震の際に EV車が多かった場合いったいどうなっていたらと 命の危険を感じ 恐ろしい気がします。「日本はEV車の普及に世界から取り残された」とも言われていますが 立ち往生して ガソリン車にけん引されて どこかの充電ステーションにたどり着かねばならないなんて、現状EVは環境や用途に応じて適切な使い方をするに限られると言わざるを得ないでしょうね。

マルジン 3月のカレンダー							＜モノレールのご依頼は…＞
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	<p>＜春一番！＞ 春一番が吹き荒れ 被害もあったようですが・・・ やっとな長い冬も終わりそうですね。 4月はもうすでに予定が詰まっています。 ご依頼は お早目をお願いいたします。</p>
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

2024年3月第316回は～冬場のモノレールSOS～について

M300 (軽量モノレール)**燃料タンクの蓋を無くしたので送ってほしい**

現場の使用者の話では「もともとキャップの締めが甘い気がした。ルートを探したが見当たらないためチェーン付きの新品のキャップをセットした。チェーンがあると燃料フィルターの取り付け、燃料確認、水混入等の点検がしづらいがエンジンメーカーの特性で締めすぎると接触部が変形する場合もあるので 点検時にキャップをチェーン付きに交換する対策も講じることにしました。

M600 (中量モノレール)**定期点検中本機のセルが回らない、走行中首振りが機能しない状態、セルモータの配線が切れショートし一部溶けている、前バンパーにぶつかった痕がある**

お客様に確認したところ 複数のルートに複数の利用者があり誰が破損したかわからない状況。本機の修理を行い 初めて使用される利用者には「運転責任者からの指示」もしくは「新規でモノレール運転講習を実施する」事をご提案した。修理の費用の事もですが 当たって動かなくなった時に正直に言って頂ける関係を築くことが大切だと思います。

M300 (軽量モノレール)

カーブ部でレールのラック側面が削れている。安全性の評価ができないため 確認をお願いしたい。 16.5mほどの枝線で、急カーブ(きつい曲げ部)箇所レールのラック側面が削れていたため、レール×3本交換する。設置時に用地の関係でルート変更があり 通過できない場所を避けて急なカーブで設置したためレールとローラーの隙間が狭く ラック部が削られた。今回は利用者 安全監視者 5名の立会いの下 立会時違ったルートになった場合は 設置可能なルートをきちんと相談したうえで合意を取るようにしたい。マルジンの確認不足もあるので 今回は「請求無し」と判断させていただきました。

MJ3000 (重量物モノレール)**走行しようとしたら モノレールが動かなくなったのでどうすればいいですか?との連絡あり**

すぐに現場に伺ったところ起点から 50mぐらいのところまで停止していたので エンジンをかけて確認しました。ガバナ異常のランプが点灯していたためガバナを確認したところ ガバナ位置が少し移動していました。何かを挟んだのか?振動で動いたのか不明でしたが 正常の位置まで手で戻し試走を繰り返し 状況を説明の上お引渡ししました。新車の牽引車ですから 原因不明でまた同様の事があれば

メーカーも連れて究明いたします。(その後 同じことは起こらず 無事現場が終了しました)

M600 (中量モノレール)**エンジンはかかるが ブレーキが効いているみたいで動かないので見に来てほしい。**

現地到着後 動かしたところ通常通り走行もでき、ブレーキ等確認するも異常はなく 現場を間違えたか?と確認したところ 担当がこれら説明。おそらく 作業終了時にカバーをかけて収納し 朝 使用前にカバーを外す際 チョークが引いてあったので チョークの戻し忘れ及び 暖機運転の時間が待てなかったのではないかと今回の使用者は取扱説明を受講した人ではないとのことでした。冬期間使用する人も少ないので 雪解け後現場に入られる対象者向けに再度 取扱講習を実施しようということになりました。

M600 (中量モノレール)**エンジンがかからない**

大勢の方が使用する現場で 冬期間になって数日、もしくは 1週間に一度ぐらいの割合で「動かない」の連絡あり、伺うと 使っていた方がわからない。置いてある本機を見ると プラグが真っ黒で… プラグ掃除及び プラグ交換でエンジンはかかるようになるが もう何度も「かからない」と言われるのは信用問題でもあるため 新品のエンジン載せ替えをしましたが 1週間でまた連絡がきました。再度ではあるが「チョークを利用せずに始動、もしくは半チョークでの走行はやめてほしい」と周知してほしいとお願いしましたが 使用者全員には伝わっていない模様でした。心苦しいことではあります。次同じ症状で伺うことがあった場合は「有償」ということも含め置いていただきたいと お願いしました。とにかく現場状況が急斜面であり 使用頻度も高く 尚且つ本機全体を交換するには クレーン車の手配や 利用を停止していただく時間も必要であるため 現在のところ様子見の状況です。

定期的な点検のない永設現場(中量モノレール)**エンジンはかかるが走行不能なので見てほしい**

遠心クラッチ、ベルト他破損の疑いもあるため すぐに向かいます。起点にてベルトカバーを外し 確認したところ、Vベルトが2本とも切断していました。ベルト交換後 エンジンオイルも点検したところ真っ黒だったため交換しました。修理の報告をして 保守管理は大切ですので 定期的な点検をお勧めしましたが 残念ながらまだ返答は頂いていません。

冬場のSOSは チョーク、プラグ等でのご連絡が多いようです。使用される人数の多い現場では 使用上の注意を周知いただけるとありがたいです